

令和 7 年度 持続可能な魅力ある田園地域創出事業

事業説明会

2025 / 04 / 16

もくじ

1. 本事業の目指すもの
2. 二つの支援コースについて
3. 事業のスケジュールと申請について
4. 審査基準について
5. Q & A
6. 質疑応答

1 . 本事業の目指すもの

ご挨拶と事業の背景

この事業が生まれた背景を、富山県の現状と併せてご説明いたします。

「世界が憧れる田園地域」創出を目指す

富山県では、人口減少が進む中、新しい富山県のさらなる発展に向けて、

「幸せ人口1000万～ウェルビーイング先進地域、富山～」を掲げる「富山県成長戦略」を令和4年2月に策定しました。

人口減少により、社会インフラの縮小や地域の美しい景観、歴史、文化、産業の維持が困難になるなど、

田園地域の求心力の低下が懸念されています。

こうした課題を克服するため、「持続可能な魅力ある田園地域創出事業」を通じて、

地域資源を活用した地域の求心力や生業の創出に向けた地域のビジョンづくりや実証実験の支援等を行うことにより、

「世界が憧れる田園地域」の創出を目指しています。

この事業が目指す

「世界が憧れる田園地域」とは

美しい景観があり、
文化、歴史、習わしなど
地域ならではのストーリーの魅力に
興味関心を持った人が
地域を訪れて体験し、深く実感できる

人と自然が共生し、
地域の**求心力**とその時代に合った
生業（なりわい）が新たに生み出され
ていく地域・場所



「世界が憧れる田園地域」とは

美しい景観があり、
文化、歴史、習わしなど
地域ならではのストーリーの魅力に
興味関心を持った人が
地域を訪れて体験し、深く実感できる

人と自然が共生し、
地域の**求心力**とその時代に合った
生業（なりわい）が新たに生み出され
ていく地域・場所

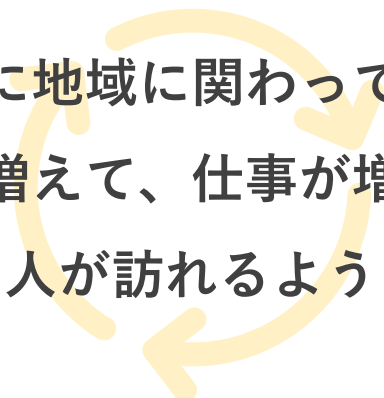


訪れた人、体験した人に**関係人口**になってもらうことで

持続的に地域に関わってもらう

人が増えて、仕事が増える

さらに人が訪れるようになる

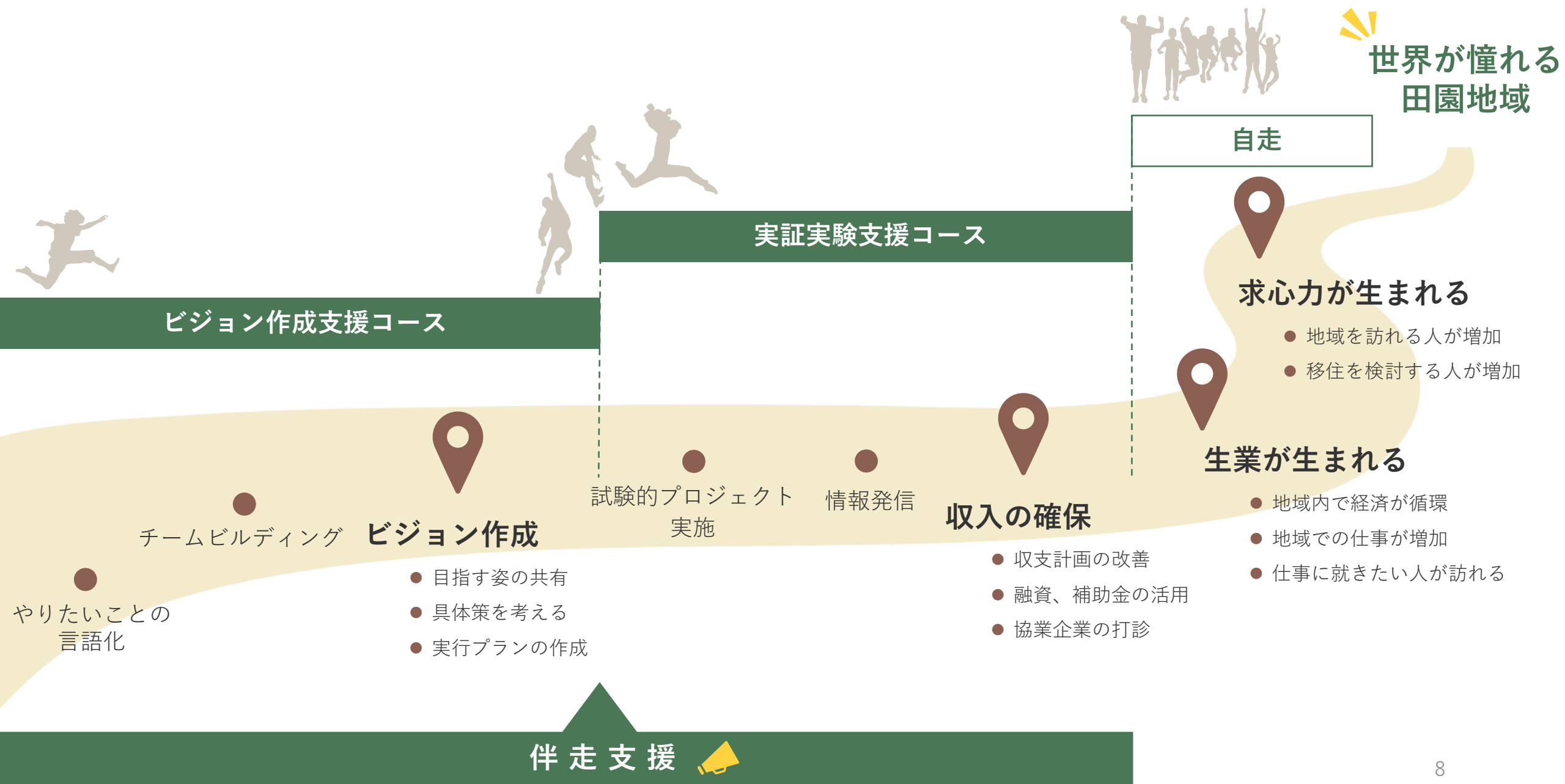


とは言っても、

- どんどん人が減っているのに、新しいことなんて始められない
- 若い世代の考えで何か実行するのが難しい
- すでに頑張ってるけど、うまく広がっていかない



 お悩みの解決を伴走支援します。



2 . 二つの支援コースについて

	 ビジョン作成支援 コース	 実証実験支援 コース
目的	地域単位のビジョン（ 目指す姿 ）とその 実現に向けた計画 づくり、活動のベースとなるチームビルディング	地域のビジョンに基づいた、魅力ある地域資源を活用した持続可能な生業の創出
対象となる方	NPO、町内会、自治振興会、企業、個人等（法人格の有無を問わない）	NPO、町内会、自治振興会、企業等（法人格の有無を問わない）
対象となる活動内容	ビジョンづくり、計画づくりに向けた ・話し合いの開催 ・地域資源の調査 ・地域のステークホルダー向け研修の開催 ・地域資源の魅力を検証するイベント開催 など	魅力ある地域資源を、 地域の収入と求心力 を生み出す事業に成長させるための実証実験 ・試作品の販売 ・ブランディング ・集客イベントの開催 ・販路開拓 など
活動費用の支援	—	MAX 100 万円
伴走支援内容	・円滑な話し合いの運営、合意形成の補助 ・地域の強みと弱みの分析、実行性の検証 ・講師のコーディネート など	・事業計画の課題抽出、戦略立案・改善 ・プロダクトデザイン、広告制作の助言 ・市場調査、ブランディング等の補助 など



ビジョン作成支援コース

地域単位のビジョン（目指す姿）とその**実現に向けた計画**づくり、活動の
ベースとなる**チームビルディング**を支援



大好きな地域を子供たちに残して
いきたい！**想いはあるけど、活動
内容が定まらない。**



地域では**若い人の意見がなかなか
通らない。**いろんな世代の視点で
地域の未来を考えたい！



やりたいことはあるけど、**一緒に
実行してくれる仲間が足りない。**
周りを巻き込んで進めたい！





ビジョン作成支援コース

地域単位のビジョン（目指す姿）とその実現に向けた計画づくり、活動のベースとなるチームビルディングを支援



大好きな地域を子供たちに残して
いきたい！**想いはあるけど、活動
内容が定まらない。**



地域では**若い人の意見がなかなか
通らない。**いろんな世代の視点で
地域の未来を考えたい！



やりたいことはあるけど、**一緒に
実行してくれる仲間が足りない。**
周りを巻き込んで進めたい！

地域の**ビジョン**＝将来のありたい姿を描く

地域内で合意形成されたビジョンをしっかりと
定めることで、

- 地域の**何を**変えるべきか。新たに作り育
てるべきか
- **いつまでに、どのような状態**を目指すか
- 地域内で**誰が**何に取り組むか

などを整理・検討することが可能になります。

具体的なアクションへ



ワークショップ



ファシリテーション



サポート例



講演会・セミナー



地域の魅力調査





実証実験支援コース

地域のビジョンに基づいた、魅力ある地域資源を活用した**持続可能な生業**の創出 を支援



地域の課題解決の筋道が見えているけど、**実行ノウハウ**や**仲間が足りない**のでスピード感がなくて困っている。



課題がしっかり見えていて心強い仲間もいる。しかし、**活動をスタートさせる資金**が足りなくて困っている。



地域資源を活かした事業を実施しているが、**なかなか地域に利益をもたらすことができない**。専門的視点からアドバイスしてほしい。





実証実験支援コース

地域のビジョンに基づいた、魅力ある地域資源を活用した**持続可能な生業**の創出 を支援



地域の課題解決の筋道が見えてい
るけど、**実行ノウハウ**や**仲間が足
りない**のでスピード感がなくて
困っている。



課題がしっかり見えていて心強い
仲間もいる。しかし、**活動をス
タートさせる資金**が足りなくて
困っている。



地域資源を活かした事業を実施し
ているが、**なかなか地域に利益を
もたらすことができない**。専門的
視点からアドバイスしてほしい。

事業の**収益性**の向上・検証

検討している事業が、持続可能な生業として、

- 地域の**求心力の向上**につながるか
（＝**関係人口の増加**）
- **持続的に 収入を確保**できるか

をトライアル実施により検証します。
ノウハウ支援＋**活動資金支援**を通じて収益性を
高めます。

持続可能な生業 へ





実証実験支援コース

富山県と締結する業務委託契約に基づいて、
当該実証実験にかかる費用を支援します。

上限額 : 1支援対象者あたり **100** 万円

対象経費 : 実証実験に必要な下記のコスト

- 人件費
- 報償費
- 旅費
- 委託料
- 需用費（消耗品費含む）
- 役務費（印刷製本費含む）
- 使用料および賃借料

※ ハード整備は対象外です。

※ 資産性のある機器・備品の購入は対象外です。

※ 事業によって発生する収入は、事業効果を高めるため、当該事業費に充てることとします。

実証実験と同時に**自己資金**で
実施されることは差し支えありません。



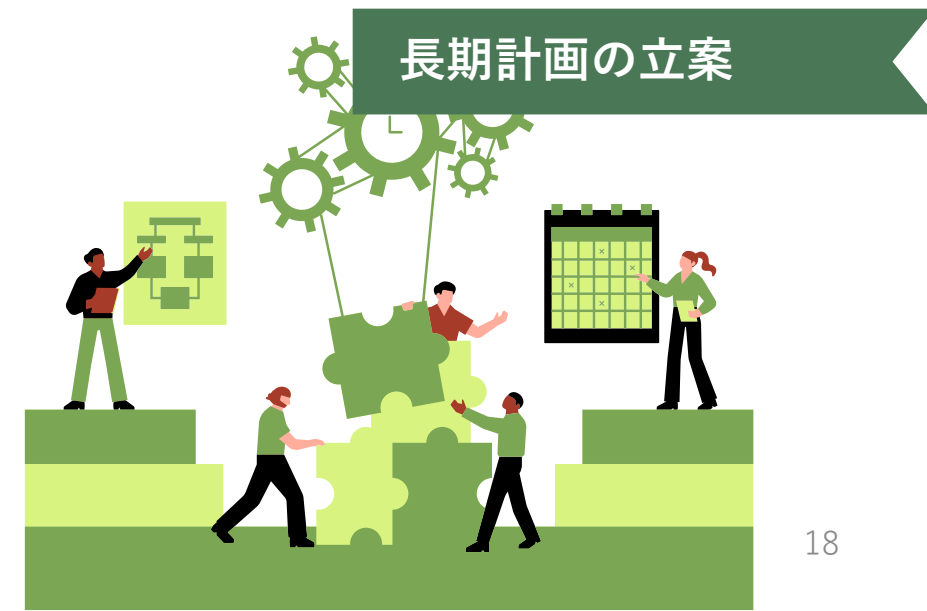
実証実験支援コース

対象経費の例

	○の例	×の例
人件費	実証実験に従事するスタッフの報酬	経常的に雇用するスタッフの給料
報償費	独自に招聘したアドバイザーへの謝礼	実証実験と関係が薄い講師の謝礼
旅費	県外での販売イベントのスタッフ旅費	お客さんの交通費を負担すること
需用費	消耗品の購入費	10万円を超える備品の購入費
役務費	チラシ、HP作成費用、郵送料、保険料	既存の企業・団体HP全体の改修費
委託料	旅行会社へのツアー企画委託	実証実験の大半を外部委託する費用
使用料・賃借料	機械のリース代、イベント会場使用料	経常的な事務所の賃借料



サポート例



3

・ 事業のスケジュールと申請について





最初はこちら



1

事業ホームページから申請書類をダウンロード



2

申請書類を記入



3

記入した
申請書類を
メールで送付



4

必要に応じて
ヒアリング
(事務局より連絡)



5

選考結果
お知らせ

締切
5月9日(金) 17:00

5月下旬ごろ

このあと
書き方相談を
受け付けます



4 . 審査基準について

審査基準について_ビジョン作成支援コース

ビジョン作成支援コース (100点満点)

審査項目		審査の観点	配点
1	事業趣旨	事業趣旨に合致したビジョンの作成を目指しているか	15点
2	事業内容(1)	目指しているビジョン作成を達成できる実施内容となっているか（頻度、活動の内容）	20点
	事業内容(2)	地域ならではの資源の活用を想定できているか	15点
	事業内容(3)	作成したビジョンが有効に活用される見通しとなっているか	15点
	事業内容(4)	地元のステークホルダーの巻き込みが図られているか	20点
3	実施体制	効果的なビジョン作成ができる構成か ・ビジョン作成の過程で、UJターン者や関係人口等の地域外に居住した経験を持つ者の視点を取り入れているか ・実施体制に、40歳以下の若い世代または女性が入っており、多様な意見が反映される体制となっているか	15点

審査基準について_実証実験支援コース

実証実験支援コース

(100点満点)

審査項目		審査の観点	配点
1	事業趣旨	事業趣旨に合致した活動のビジョンを持っているか	15点
2	事業内容(1)	ビジョンの達成に向けた目標設定が適切か	15点
	事業内容(2)	支援対象者の持つビジョンの実現に向けた効果的な実証実験となっているか	20点
	事業内容(3)	自走につながるスケジュール・取組みとなっているか	20点
	事業内容(4)	必要なステークホルダーとの調整がされているか	15点
3	実施体制	継続的にビジョン実現を目指す体制となっているか ・実施体制に、40歳以下の若い世代または女性が入っており、多様な意見が反映される体制となっているか	15点

5 . Q & A

Q

今回ビジョン作成支援コースで申請し、来年度以降に実証実験支援コースを改めて申請することは今後可能ですか？

この事業は単年度で実施するものとなり、来年度以降も必ず実施できるとお約束できるものではありませんが、令和8年度の予算が議決されれば、継続して実施していきたいと考えています。来年度も実施の際は、ご質問のように申請いただくことは可能です。

Q

実証実験はどんな事業内容でも応募可能ですか？

募集要項記載の募集内容に合致するものであればこういった事業内容でもご応募いただくことは可能です。選定基準に基づき審査をさせていただき、より事業の趣旨に沿った内容でご応募いただいた方を、支援対象とさせていただきます。

Q

対象となる範囲（エリア）を教えてください。

本事業においては、田園地域に存在する地域資源を核として、その磨き上げにつながるビジョンづくり・実証実験を支援いたします。そのため、まちなか（商店街等）以外の幅広い地域を対象地域と考えています。申請範囲が商店街等を含む広範囲になったとしても、その事業内容が田園地域の地域資源を中心としたものであれば申請は可能です。

6 . 質 疑 応 答
